

せんぼ通信 No.3

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「心のシャッター」

ひと昔前の、キムタク主演のテレビドラマ

「ビューティフルライフ」。

あっ、キムタクが軽トラ運転してる・・・

なんて、時々みていました。

遠くへいってしまうことが、わかっている人
との大切な日々、その人をずっと・・・いっぱい

・・・心に住まわせようとしているセリフ・・・

「ぼくは、心のシャッターをおした」

こんなセリフをキザでもなく、カッコよく
キムタクに言わせるなんて、北川悦吏子さんの
脚本はすごいな・・・高視聴率でした。

よくよく振り返れば、だれでも気付かずに、
心のシャッターをおしているのですよね・・・
楽しいことばかりでなく、いろいろなことを。
デジカメやスマホのように簡単に削除ができ
ないむずかしさもあったり・・・ね。

雪のたよりのとどく長い夜・・・そっと、
ひとり、心のアルバムを開いてみては・・・
ただし、優しくなれないページは・・・パス・・・
そんな時は・・・「3回目の初恋の人」

(となりのおばちゃんの名セリフ)の
ページにしましょう。

「アチャポチャチャチャ・チャチャポチャ
チャ・チャポ」

・ジュースやみそ汁をこぼしたり、お茶わんを
わったりした時の私の呪文。

アチャポチャ・・・と、わめきながら後片付けを
していると、「まったくもう・・・」という気持ち
が消えていくので不思議。「イマノナニ、ソ
レ？」みたいな顔して見ていた孫も、目が合う
と思わずニッコリ・・・

しかたないよね・・・だれのせいでもないよね・・・
地球の重力のせいなのですから・・・

「こだ事になっと思ってね
がったから、年賀状だしま
った。わりがったない・・・」

「そだごとねえ、さすけね
え・・・」38年前のクリスマ
スの朝、突然の祖父の他界。
どんでん返しのような、年末
になってしまった時の、お客
様と父の会話。

日付が変わり迎えた元旦。謹
慎中のような気持ちで沈ん
でいた時、束になって届けら
れた年賀ハガキ・・・

素直にうれしかった。1枚1
枚読みながら、「出してしま
った、ごめん」というおもい
が温かく伝わってきて・・・。
あの時以来、全国で大量の年
賀ハガキが、元旦に届くこ
とは、あたり前ではなく・・・
ありがたいことなのだと。

